

9.11 ふんわり開いた白い綿

9月11日、市農業公社が中野町で栽培している「伯州綿」の収穫が始まりました。5月にまいた種が順調に成長し、8月に開花、そして、約3センチのふっくらとした実を結びました。

天候不順の夏のため、収穫量への影響が心配でしたが、おおむね好調の実り。収穫は来年1月まで続き、約1トンの収穫を見込んでいます。

「伯州綿」の本格的復活への道を大きく前進！



9.17 市民パワーを“調べ”にのせて

9月17日、文化ホールで、日光を浴びることのできない「ポルフィリン症」の難病指定を目指して活動する「池谷兄弟を応援する会」が市内で活動する音楽家4人によるコンサートを開催しました。

この収益金は難病指定請願の活動に充てられるもので、市民約400人が美しい調べを堪能。最後に池谷鉄兵さんから全国組織で約38万人の署名が集まり、近く厚生労働省に提出する予定であることが報告されると、会場からは暖かい支援の拍手が沸き起こりました。



9.18 弱者の視点で見ると・・・

9月18日、外江公民館で車いすを体験する教室が開かれ、地域の住民約20人が参加しました。

はじめに車いすの特性や扱い方の説明を聞いた後小グループに分かれ、外で車いすを体験。参加者は、何でもない道路の傾斜や溝が、車いすにとっては思わぬ事故に繋がりがねないことに驚きながら危険箇所をチェック。「やさしさ」の視点が加わった参加者とともに、公民館では、地域の危険マップを作成し、みんなにやさしいまちづくりを進めます。



9.19 風に吹かれ リズムに吹かれ

9月19日、夕日ヶ丘2丁目の中海親水公園で「夕日ヶ丘トワイライトコンサート」が開催され、市民の皆さんが夕日をバックに韓国の民族打楽器を楽しみました。

今回は、「民団島根サムルノリ」の皆さんが韓国の伝統芸能である「サムルノリ（四物の遊び）」を演奏しました。空の下で四物（雨、雲、風、雷）を表す4種類の打楽器で独特のリズムを奏でて、自然と一体となったような雰囲気醸し出しました。

